



題字：大洲中学校 3年 杉山和香奈さん



イルミネーション  
撮影：寺田 清さん

Vol.  
217

令和3年2月5日

## 調査期間

令和2年11月5日～令和2年12月10日

## 配布対象

市議会だより11月5日号に掲載（全世帯配布）

## 回収方法

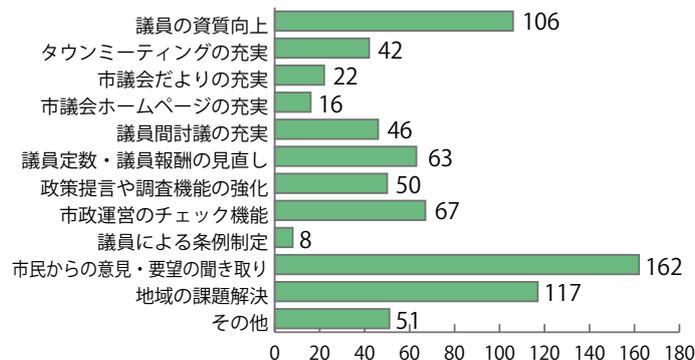
郵送、FAX、ホームページ、Eメール、各地区交流センター及び市役所1階受付での受取ほか

回答数 287人

※その他の意見については主なものを抜粋しています

## 全体として

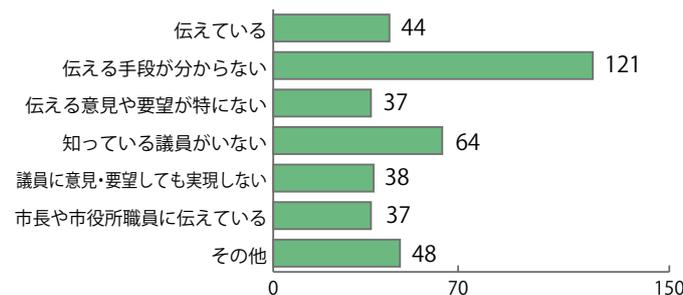
## Q5 今後、市議会に望むこと（取り組むべき課題）は何だと思われますか？（複数回答可）



## 【その他の意見】

- もっと様々な現場に足を運び現状を見てほしい。  
(季節・天候・時間帯などでそれぞれ違う)
- 一般質問で各議員の同じような質問が多い
- 都市計画などを伝えたり、施設や道路の建設状況について発表してほしい。

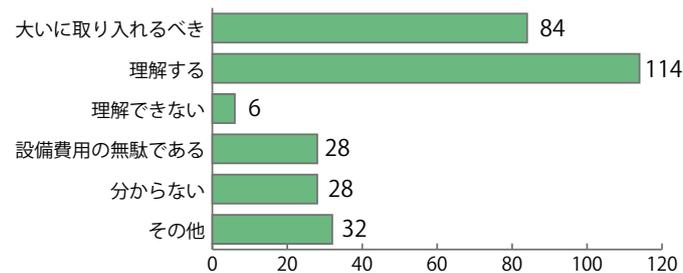
## Q6 議員に自分の意見や要望を伝えていますか？（複数回答可）



## 【その他の意見】

- 敷居が高く感じ、気軽に意見や質問を議員にしてよいかわからない。
- 議員への伝え方をしっかり教えてほしい。
- 議員へ伝える方法としてEメールを活用したらどうか。

## Q7 市議会のオンライン会議についてどうと思われますか？（複数回答可）



## 【その他の意見】

- オンラインでできることはどんどん採用するべき。
- 常時は不要。必要に応じての活用を。
- 世の中全体でデジタル化が進み、高齢者は置いてきぼり。高齢者に受け入れやすい方法を考える必要がある。

## Q8 新型コロナウイルス対策で取り組むべき課題など（自由記載）

- PCR検査など、受けやすくしてほしい。
- PCR検査についてどういう場合に受けられるのか知りたい。
- 感染者のその後の容態や現状を知りたい。
- オンライン受診の推進
- コロナ禍での避難所運営を広く市民に周知して欲しい。
- 店のコロナ対策の充実

広報広聴委員会  
委員長より

藤枝市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆様から議会や行政に対するご意見をいただく場として、平成22年度から「議会タウンミーティング」を開催してまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延から多人数での開催が難しくなり、令和2年度の開催を中止いたしました。このような中でも、市民の皆様の声をお聴こうと、アンケートを実施させていただき、多くのご意見ご要望をお聴くことができました。今回のアンケート結果を基に、議会での調査研究に役立て、市政に反映していきたいと思っております。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。 市議会広報広聴委員会 委員長 多田 晃

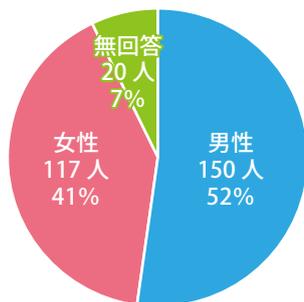
## 藤枝市議会広報広聴委員会

# 市議会だよりアンケート結果

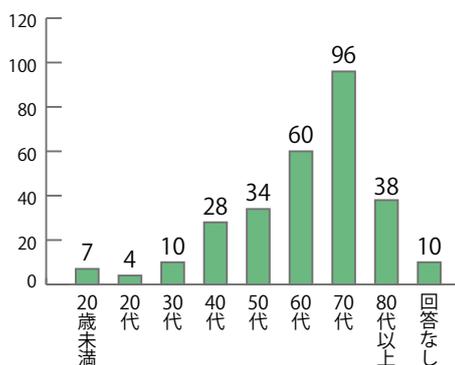
～市議会だより11月5日号のアンケート結果をお知らせします～

### Q1 あなたの性別と年齢、お住まいの地域を教えてください

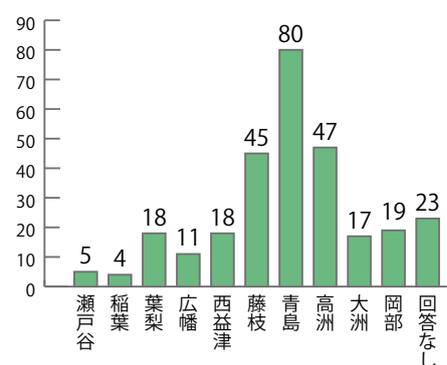
【性別】



【年齢別】

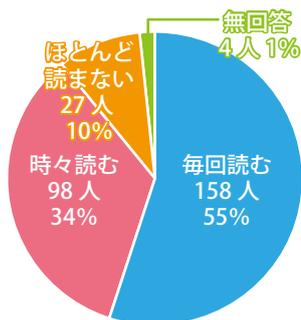


【地域別】

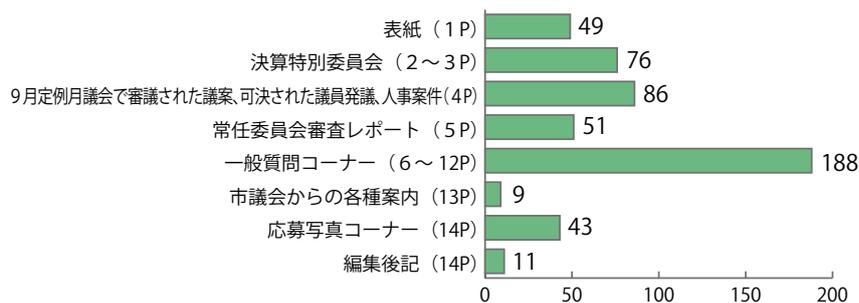


## 市議会だよりについて

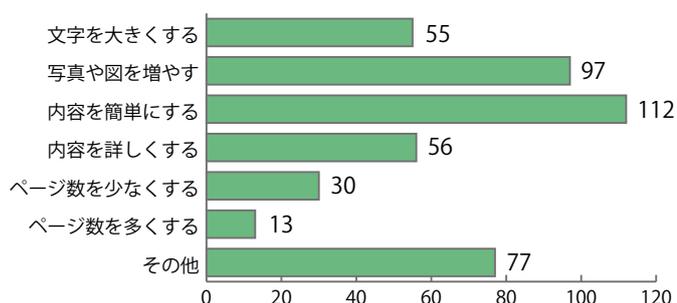
### Q2 議会だよりをどのくらい読んでいますか？



### Q3 今回の11月5日号で興味のある記事の上位2件を教えてください。



### Q4 市議会だよりを読みやすくするためにはどうしたら良いと思いますか？（複数回答可）



#### 【その他の意見】

- 現在のもので十分読みやすい。字の大きさも良くわかりやすく一般質問コーナーも簡潔で良い。
- 一般質問コーナーでのその後の結果を知りたい。
- 専門用語に注釈を入れわかりやすくしてほしい。

# 11月定例月議会で審議された議案

## ◆全議員が認めた議案◆

議案番号	議案名
第91号議案	令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第7号）
第92号議案	第6次藤枝市総合計画基本構想について
第97号議案	藤枝市地区交流センター条例の一部を改正する条例
第99号議案	藤枝市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
第100号議案	れんげじスマイルホールの指定管理者の指定について
第101号議案	志太・榛原地域救急医療センターの指定管理者の指定について
第102号議案	藤枝市駅南自転車駐車場の指定管理者の指定について
第103号議案	市有財産の取得について（有害鳥獣減容処理装置）
発議案第28号	防災・減災、国土強靱化のための緊急対策の継続と拡充に関する意見書
発議案第29号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
発議案第30号	新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等の根絶に関する決議
発議案第31号	藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則
発議案第32号	予算特別委員会の設置について

## ◆賛否の分かれた議案◆

○賛成 ×反対

議案番号	議員名（議席順） 案件・結果	八木	川島	増田	天野	山川	深津	神戸	多田	鈴木	平井	遠藤	山本	油井	松崎	山根	小林	石井	大石	岡村	大石	植田	数崎
		勝	美希子	克彦	正孝	智己	寧子	好伸	晃	岳幸	登	久仁雄	信行	和行	周一	一	和彦	通春	信生	好男	保幸	裕明	幸裕
第93号議案	藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	○	○
第94号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	○	○
第95号議案	藤枝市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	○	○
第96号議案	藤枝市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	○	○
第98号議案	藤枝市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	○	○

※議長は採決には加われません。

# 本会議の

# 討論

11月定例会月議会では、賛否の分かれた議案について討論が行われました。ここでは、その一部を掲載します。

## 第93号議案

藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例

### 反対 石井通春議員

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

給与実態が賛否の判断。議員報酬（手取り31万円）は安すぎ「議員のなり手がない」というのが議会内の大勢の意見だ。市長給与（支給額90万円）は平均値だが、公務員の手当は民間の給料に当たる。手当て引下げは民間給料引下げの呼び水。負のスパイラルを招く。

## 第95号議案

藤枝市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

## 第96号議案

藤枝市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
これら4件の一括討論

用職員はほぼ正規職員と同じ仕事をしながら支給月額に2か月の差がある上、削減は認められない。国がやる事は休業に伴う補償だが、責務を放棄。議案は議員・公務員個々の問題にとどまらず、国民の8割を占める労働者階級全体に悪影響を及ぼすため反対する。

### 賛成 深津寧子議員

人事院の給与勧告制度は、公務員の給与水準決定における基本であり、人事院勧告を尊重することが、国や他の地

方公共団体、民間企業の給与との均衡を保ち、給与の適正化を図る最善の策であると理解している。

今回の改正は、新型コロナウイルス対策に尽力している職員にとって、非常に厳しい内容であるが、現下の厳しいコロナ禍の社会経済情勢を反映しての内容であり、やむを得ない措置と考える。また、市議会議員や、特別職などの期末手当は、これまでも一般職の期末勤労手当の改定に併せ、同様に実施してきた経緯がある。以上の点から、本議案に対し賛成する。

## 第98号議案

藤枝市印鑑条例の一部を改正する条例

### 反対 大石信生議員

①マイナンバーカードは、市民にとって「役に立つ」実感がほとんどなく、今回も不要不急の改正である。

②これまで3億円も負担し、費用対効果が問題だ。システム改修4400万円、毎年の維持費も巨額にのぼり、今後

戸籍に紐付けられるようになれば負担はさらに莫大なものになる。③5年経って普及率たった2割。国民が持たざるを得ないような仕組みを強行していくのは、逆立ち政治だ。④個人情報漏えいの不安が広がる改正である。マイナンバー制度の狙いは、社会保障の抑制、削減にあり、今回の改正に賛成することはできない。

### 賛成 遠藤久仁雄議員

本議案は、個人番号カードを利用して、コンビニの多機能端末を通じて印鑑登録証明書を交付するための条例改正である。

コンビニ交付サービスの導入により、市民が必要とするときに速やかに証明書を取得できる環境が整うことは市民にとって有益である。また、システム等の強固なセキュリティ対策により安心して利用することができる。

本サービスは、県内では本市以外の市で実施されており、藤枝市民も同様に利益を享受できるようにするうえで必要な条例改正であるため賛成する。

## 可決された議員発議

### ◆ 発議案第28号

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策の継続と拡充に関する意見書



### ◆ 発議案第29号

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書



### ◆ 発議案第30号

新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等の根絶に関する決議



### ◆ 発議案第31号

藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則の公布について

### ◆ 発議案第32号

予算特別委員会の設置について



# 令和3年度予算編成に向けて、議会から市へ提言

市の主要事業等について、成果や課題の整理、施策の評価を行い、3つの常任委員会から、それぞれの視点で考えた以下の項目を「提言書」として市長へ提出しました。

## 総務文教委員会

- 1 消費者教育推進計画の策定について
- 2 小中一貫教育等、教育に対して求めることについて
- 3 公共施設でのWi-Fi環境の充実について

## 健康福祉委員会

- 1 新型コロナウイルス感染症対策と健康管理について
- 2 放課後児童クラブ待機児童の解消について
- 3 障害福祉サービスの充実について

## 建設経済環境委員会

- 1 コロナ下における経済対策と移住促進・企業誘致等について
- 2 道路・下水の整備等について
- 3 中山間地域の定住人口対策について



提言書は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## 常任委員会審査レポート ピックアップ!

### 総務文教委員会

第97号議案 藤枝市地区交流センター条例の一部を改正する条例  
～新葉梨地区交流センターが、昨年10月末に完成し、  
今年の1月にオープンしました～

本会議  
可決

この施設は、地域コミュニティづくりや防災の拠点として、誰にも親しまれる施設をコンセプトに設計されています。1階には、200人を収容できる防災研修室、地域子育て支援センターなど、2階には、研修室、調理室などがあり、地域の活性化をはかる施設として期待でき、当施設の移転に伴う住所の変更について委員会では可決すべきものと判断しました。



▲新葉梨地区交流センター

### 健康福祉委員会



第100号議案 れんげじスマイルホールの指定管理者の指定について  
～現在「れんげじスマイルホール」の施設を管理  
運営している株式会社ティップネスが応募者の中で  
1位の評価点を獲得～

本会議  
可決

令和3年度から導入する指定管理者制度において専門性やノウハウを生かし、本市の子育て支援や市民のスポーツ振興及び健康増進をはかっていくため、委員会としても可決すべきものと判断しました。

### 建設経済環境委員会

第103号議案 市有財産の取得について(有害鳥獣減容処理装置)  
～令和3年4月に稼働予定の  
有害鳥獣減容化施設に設置する処理装置の取得～  
3,014万円

本会議  
可決

深刻化するイノシシ等、害獣の捕獲後の処理を容易にする装置の取得であり、委員会としても可決すべきものと判断しました。



有害鳥獣減容処理装置  
(イメージ写真)

11月定例月議会において、議員発議により

# 「新型コロナウイルス感染症に係る 誹謗中傷等の根絶に関する決議」が可決

決議全文



新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染し、誰もが気づかぬうちに他人に感染させる可能性があること、誹謗中傷等は決して許されない卑劣な行為であること、そして誰もが誹謗中傷等の被害者にも加害者にもなり得ることを改めて周知するとともに、市民一人一人が正確な情報に基づいて、冷静で思いやりを持って行動することが求められています。

藤枝市議会では、新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見、誹謗中傷を断固として許さず、その根絶に全力を挙げて取り組んでいきます。

## 議長メッセージ

「新型コロナウイルス感染症」が、日本で確認され約一年になります。この間、残念ながら感染者や医療従事者などに対する差別や偏見、誹謗中傷が発生してしまいました。

藤枝市議会では11月定例月議会で、誹謗中傷等の根絶に関する決議を決定しました。

この感染症との闘いは、まだまだ続きます。各自が基本的な感染予防対策に取り組み、感染しない、感染させないことを徹底してまいりたいと思います。宜しくお願い致します。

藤枝市議会議長 大石 保幸

## 新型コロナウイルス 感染症情報

藤枝市の新型コロナウイルス感染者情報

令和3年1月19日現在

75例

感染者情報は、静岡県において感染者の内容を精査し一括して公表しています。  
新型コロナウイルス感染症患者の発生についての詳細は静岡県ホームページをご覧ください。



### 発熱時の医療機関への受診について

医療機関やセンターでのご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合に、必要に応じてPCR検査が受けられる体制となっています。発熱等症状がある場合はあらかじめ下の図のとおり電話で相談し、指示に従って受診してください。





志太創生会  
増田 克彦 議員



## プラスチックごみ削減について



瀬戸川岸に散乱するプラスチックごみ

- 問** 市のプラスチックごみのリサイクル率は？
- 答** R元年度のリサイクル率は38%で年々向上している。
- 問** 硬質プラスチックのリサイクルへの取組は？
- 答** 国の制度変更に伴い一括回収となるため、検討していく。
- 問** 市として「プラごみゼロ宣言」を表明してはいかがか。
- 答** 「ふじえだ廃プラスチック・食品ロスゼロ表明」を提案し、オール藤枝で進める。

## 二酸化炭素排出量低減について

- 問** 「新エネルギープロジェクト」の進捗は？
- 答** 太陽光発電量については順調。バイオマス燃料利用は課題が多く進展していない。
- 問** 「藤枝環境基本計画」におけるCO<sub>2</sub>対策の進捗は？
- 答** 家庭からの排出量は減少しているが市全体としては増加傾向。
- 問** 国のカーボンニュートラル宣言を受けて、市としての取組は？
- 答** 「2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロのゼロカーボンシティ」の表明を本年度末までに行い、対策に取り組んでいく。



環境省広報誌エコジンVol.60より



志太創生会  
遠藤久仁雄 議員



## 発達に課題がある子どもへの支援と環境を考える

**問** 約1年前から始まった藤枝版サポートファイル「そらいろ」

- の普及状況について伺う。
- 答** すでに就学前の児童については、対象者のうちほぼ全員がファイル「そらいろ」を活用している。学校が変わっても子どもの成長過程や支援内容が伝わりやすく、有効性が高く評価されている。今後は小学生を中心にさらに活用を広めていきたい。
  - 問** 通級という制度があり、小学校の通常学級に所属する児童が、同じ学校の別の教室や他校で、言語または発達に関する指導を受けている。本市では、なぜ言語通級が2年間、発達通級が3年間というように、通級年数に上限を設けているのか伺う。
  - 答** この期間での指導により、その後の指導方法や方向性が定まり、支援の在り方が決定されると考えられるからである。ただし就学支援委員会において認められれば、通級年数は延長される規定である。
  - 問** 通級指導教室に通う子どもは悩みを抱えているし、一人ひとり個人差もあると思われる。指導に目安や目標があることは理解するが、この子たち全員

にとって年数制限があることは良いことなのか伺う。

- 答** 通級の年数制限の妥当性については、今後検討の必要があると思われる。そのうえで成果が見られない場合は別の教育環境について考える必要もあり、将来通常学級等でのように学んでいくのが一番よいのかを考えることが大切である。

## 玉石の不思議に思いを寄せて

- 問** 朝比奈活性化施設「たまゆら」以外に、市が玉石の紹介をしている場所があるのか伺う。
- 答** 市の施設では確認できていないが、神社の中には灯籠が設置され、地質学的にノジュールという名称で紹介されている看板が見受けられる。
- 問** 国道1号線バイパストンネル工事に伴い、玉石が出現した場合の処置について伺う。
- 答** 工事では、岩盤を砕きながら掘削作業を進めていくため、きれいな形状のまま玉石が出現する可能性はきわめて低いと思われる。しかし玉石が出現した場合には、関係諸機関と連絡調整を行い、見学会を開催するなど、市民に玉石の魅力に触れてもらう機会を設け、興味・関心の醸成に努める。



うーん大きいこれがたまゆらの玉石だ!



藤新会

小林 和彦 議員



### 高洲南小学校区への公園整備について

**問** 高洲南小学校区の公園整備状況について伺う。

**答** 高洲南小学校区の公園は、高岡公園のみであり、他の地区より少ない状況にあったので、公園機能を補完する目的でふれあい広場の設置を進めてきたが、遊具がある公園については少ないと認識している。

**問** 今後の整備に向けた方針について伺う。

**答** 今後高洲南小学校区における公園整備については、他地域も含めたバランスや周辺環境などの諸条件を整理し、市有地を活用した公園用地の確保など、効果的な整備手法を検討していく。

**問** ふれあい広場の土地を買い取り維持していく考えはあるか。

**答** 昨今の社会情勢や所有者の事情の変化の中、ふれあい広場については、維持管理において



今後整備されたい都市公園

諸般の支障をきたしている事は認識している。ふれあい広場は地域コミュニティ活動や、災害時の一次避難場所として重要な機能を有している施設であり、今後はふれあい広場の整備や維持管理は都市公園を含め、中長期的な整備方針を検討していく。

### 指定管理制度のあり方について

**問** 市民満足度の調査内容とその向上に努めているか。

**答** 本市が独自に定めるモニタリングのガイドラインにおいて、指定管理者に対し、利用者のニーズ聴取と反映を求めており、各施設において利用者へのヒアリングやアンケートを実施し、寄せられた意見については、指定管理者と施設所管課が共有し、利用者の満足度の向上に努めている。

**問** 制度導入に伴う今後の経費削減について伺う。

**答** 選定にあたっては、複数年の運営管理による経費効率化と、公募による競争原理により、指定管理料の節減が図られたが、市民サービスの向上や地域振興を主眼とし、安易に金額を引き下げることだけを目的とするのではなく、同じ経費であってもより効果を上げることを目的として指定管理料を設定していく。今後も、社会情勢や最低賃金の引き上げなどに伴う人件費やサービス水準に応じて見込まれる経費については、指定管理者のノウハウを最大限発揮できる指定管理料を設定していく。



藤新会

山川 智己 議員



### 藤枝市における移住・定住について

**問** 本市における移住・定住に関する主な施策について伺う。

**答** 本市には、特に子育て世代の定住促進を図るための助成として「子育てファミリー移住定住補助金」と、結婚を機に新たに市内に住む世帯への助成として「藤枝新婚生活サポート補助金」がある。

また、若者の定着を目的とした「志太3市UIターン就職促進事業」の実施や常葉大学との連携による取材型企業情報誌の作成、さらに、企業誘致を目的とした企業立地に係る優遇制度の充実により、定住人口の維持・拡大を図っている。

**問** 移住希望者に対して、コロナ禍でのオンラインによる移住相談だけでなく、万全な対策を講じた上で直接本市を訪れてもらう考えはあるか伺う。

**答** 状況を見ながらの判断にはなるが、実際に訪れていただき本市の魅力を感じていただきたいと考えている。

その際には、行政だけではなく民間企業や団体と連携しながらアイデアを出し合って、移住希望者の方々を迎え入れたい。

**問** 今後における移住・定住の見通しと取り組みについて伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症により加速する分散型社会に対応する受け皿として、戦略的な土地利用による新たな拠点づくりなども進め、新産業や雇用を生み出すとともに、中心市街地や中山間地域などの固有の資源を有効に活かして、都市圏にある企業の本社機能やサテライトオフィスの誘致と一体的に移住・定住の拡大に努めていく。

来年度予算において、地域の特性を活かした土地利用の検討を進めるための調査費や、幅広い業種に対応すべくオフィス誘致の補助金の拡充など、必要な予算計上を予定している。

具体的には、特に重点地区として、水上地区、善左衛門・大東町地区、上当間・下当間地区、そして藤枝地区において戦略的な土地利用構想を進めていく。



水上地区



市民クラブ  
鈴木 岳幸 議員



学校給食の運営について

**問** 給食センターの調理場や、学校の給食室の温度管理の為、エアコンの設置はできないか。

**答** 調理場は本年はレンタルエアコンで対応した。来年もレンタルエアコンで対応したい。給食室は、学校によってはスポットクーラーなどで対応していた。エアコンの設置については、今後検討していく。

**問** 食品の温度管理の為に、全ての入れものに二重食缶を導入できないか。

**答** 汁物は二重食缶を使用しているが、その他は配送するトラックの荷台に入らなくなるため導入できていない。今後、早めに導入できるよう検討したい。

**問** 3か所ある給食センターはだいぶ老朽化してきているが、更新についてはどのように考えているか。

**答** 来年度中に、現在の課題に対応できる新たな給食センターの整備構想を策定する。

**問** 調理の器具備品の更新は計画的にできているか。

**答** 現場の調理員の意見を聞きながら、業務に支障の出ないように、適切に対応している。

**問** 給食の食事時間の確保はできているか。

**答** コロナ対策に手間がかかり、食事時間が減って

きている例もあるが、柔軟に十分な時間を確保できるように、各学校にアナウンスしていく。

**問** 食育の重要な役割を担う栄養教諭は、市内に6名しかおらず大変負担が大きい。増員できないか。

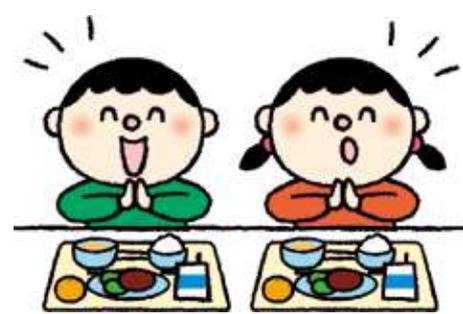
**答** 栄養教諭から聞き取りをしながら補助する方法を考え、負担を減らすようにして対応していきたい。

**問** 給食費を公会計化して徴収を市が行えないか。

**答** 県内で3つの市町ですで行っているが、人員の確保などの課題もあり、まだ本市ではできていない。しかし教員の多忙化解消にも寄与するものであり、導入手法を検討し、段階的に準備を進めていく。

**問** 困窮世帯に対する給食費の免除はできるか。

**答** 生活保護や就学援助世帯へは支援があり実質免除になっているが、コロナ禍により急激に経済状況が悪化する世帯には早期に対応できない事もあるため、このような方を支援する制度を創設したい。



おいしい給食



日本共産党  
大石 信生 議員



職員少数主義からの転換を

**問** 日本は世界で公務員が最も少ない国だが(図)、本市はさらに「全国職員少ないランキング」

で第2位という少なさだ。原発の実効性ある避難計画は出来ないし、市民から寄せられる要望にも十分に対応できない。職員一人当たり1050件の滞納案件担当では、心のこもった対応ができないなど弊害となっているのではないか。

**答** 必要な職員数の確保と適材適所に配慮した職員配置になっていると考える。単なる少数主義ではない。

**問** 正規職員が減らされた分が非正規職員(会計年度任用職員)に置き換えられている。本市は会計年度任用職員が全体の48%にもなっている。我が国の非正規労働者は3割を超えて異常だが、半数近くが非正規となっている本市の状態は、異常極まりないのでは。

**答** 人数の比較ではなく、任用の時間と期間で換算すると37.6%で、本市の非正規率が他の地方公共団体と比べて突出して高いものとは考えていない。

**問** 仕事は年ごとに増えており、正規職員がやれない分が外部委託に回され、物件費が増大している。外部委託の人件費には消費税10%が余分にかかり安

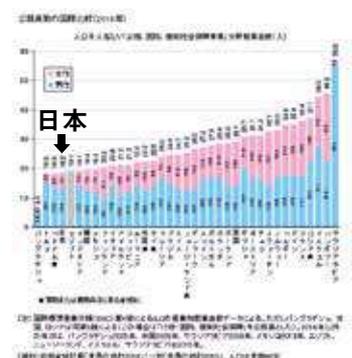
上がりとはならないことは病院給食の教訓だ。委託の増大には、検討を加えるべきではないか。

**答** 市政経営の根幹は市の職員が担い、それ以外は外部委託と組み合わせしており、最適と考えている。

**問** 正規の現業職員は、国の雇止めの方針に従って平成17年度から採用を止めているため、このままでは学校給食はじめ保育士など9つの分野で民営化に追い込まれる。市長は私への答弁で新規採用を約束したが実行されていない。すぐにやるべきではないか。

**答** 直営か民間委託にするか業務の精査をおこない、採用の検討を行ってまいりたい。

**問** 私は、今回、本市の最大の問題点として、広い範囲で職員の声も聞いて切り込んだが、正面から答えず「かわす」答弁で、ことごとく跳ね返された。問題が消えたとは思わず、引き続き最大課題としたい。



日本の公務員は世界で最も少ない

日本の公務員数 国際比較グラフ 人口千人当たり



市民クラブ

八木 勝 議員



## 新・担い手三法と本市の方向性について

### 災害時の緊急対応の充実強化への考え方



**問** 迅速に工事が発注できるように柔軟に対応とあるが、その事例や、仕組みは既に行っているか伺う。

**答** 災害が発生した場合、協定に基づき、速やかに応急対策業務に着手するものとしており、出勤要請書または電話等の通信手段で、組合員の建設業者に直接要請している。

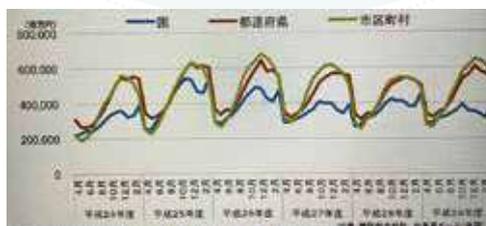
**問** 総合評価落札方式の加点について、災害協定締結で0.5点加点されるが、他の項目と配点が変わらないのは、評価が低いのではないか。

**答** 防災訓練等実動訓練の実施項目は、近年の災害状況等を考慮し、災害協定や実動訓練実績における市への貢献度は非常に大きいものであるため、配点や加点項目の見直しを含め、早速、検討していく。



**問** 現場での豊富な経験を持つ市内の建設業者を講師とする研修を行うことも有効だと考えるがいかがか。

**答** 施工事例が少ない橋梁工事や新しい技術を導入した現場では、技術職員が参加させていただく等、その知識を習得するために、非常に有効であると考えている。業者等のご理解により、現場見学会等が開催される時には、積極的に参加させていただきたいと考えている。



年間を通しての仕事量の変化



藤新会

藪崎 幸裕 議員



## 令和3年度予算編成について

**問** 「令和3年度予算概要と戦略方針」は。

**答** 本年度の当初予算を上回る規模（令和2年度545億8千万円）である。戦略的な重点施策は新型コロナウイルス感染症対策、デジタル化への対応、クリーンセンターの整備、総合運動公園の防災機能の強化、駅前一丁目6街区・9街区の整備促進、小中一貫教育の推進、放課後児童クラブの増設、黒石川・大溝川等の浸水対策である。

**問** 来年度の組織の再編について。

**答** スポーツ文化局と商業観光局を改編して「スポーツ文化観光部」に、児童課・子ども家庭課・子ども発達支援センターを統括して「子ども未来応援局」を新たに設置する。

## 『第6次総合計画』について

**問** 新庁舎の建設についてそろそろ検討が必要ではないか。

**答** 新庁舎の在り方、機能性等を含めて検討する。

**問** 藤枝市社会福祉協議会は交通の便がいい庁舎近くに移転しては。

**答** 機能強化の為に検討に値する。

**問** 自治会・町内会はコロナ禍での運営を参考に改革すべきだ。

**答** 組織の在り方を住民に理解いただいて一層支援していく。

**問** 今後のデジタル化の対応は。

**答** デジタル化の基本は市民のマイナンバーカードの取得である。個人情報漏えい等には十分気をつける。





志太創生会  
平井 登 議員



朝比奈第一小・葉梨西北小・瀬戸谷小への「小規模特認校制度」導入に向けて

問 本制度のメリット・デメリットを伺う。

答 メリットは、3校は自然に囲まれた落ち着いた環境にあること。学習や生活の指導がきめ細かくできること。児童数の増加で複式学級が回避できること。保護者と地域、学校の連携により特色ある教育活動ができること。デメリットは、遠距離通学となり、児童の通学時の安全確保や保護者の当該学校の地域活動参加への配慮が必要なこと。受け入れ校の在籍児童の中には、人間関係の変化に不安を感じてしまうことも考えられること。



問 入学及び転校等の就学条件を伺う。

答 原則として年度当初の4月入学とし、年度途中の転校は認めない。制度利用の定員は、受け入れる学年の在籍児童数を超えない範囲とする。通学手段は、保護者による送迎か公共の路線バス。

問 今後の導入スケジュールを伺う。

答 令和4年4月からの制度実施を目指している。広報による周知をはじめ、制度説明会や学校見学会などの実施を考慮すると令和3年度の夏ごろまでに制度導入の判断をする必要がある。

堀之内地区農地の維持困難を見据えた有効活用について

問 約1.5haの対象農地及び周辺農地は白地であるが、その理由を伺う。

答 青地は、法令により「10ha以上の集团的農地であること」、「土地改良事業の施行区域であること」等が基準である。その基準に該当しないため。

問 本市発展への有効活用について、地元との意見交換の機会はいつになるか伺う。

答 現在、営農・耕作がなされている土地なので、直ちに何かの方向に向かって動くものとは捉えていない。しかし、当該地は運動公園駐車場という以外にも、スポーツ選手の合宿練習用宿舎建設、優良田園住宅や将来の地元の公民館用地など、様々な可能性が考えられることから、町内会や地権者の不安解消に向けて、早急に意見交換の場を設けたい。



公明党  
山本 信行 議員



生活困窮者の現状と課題について

生活に困窮する方にさらなる支援を！

問 生活困窮者に食料品等を提供するフードバンクだが、利用する方をデータ化して声を掛けるプッシュ型支援について伺う。

答 市ではフードバンク支援を受けた方を一覧表にして管理している。個別相談の中で、「食事はどうか？」などの声掛けを通じて、「プッシュ型の支援」を図っていく。

問 伴走型支援や、断らない相談支援を具体化するための重層的支援体制整備事業を含む改正社会福祉法について本市の考え方を伺う。

答 本市が積極的に行ってきた取り組みと合致しており、強い後押しとなるもので、これまで強化してきた支援体制を最大限に生かし、本市が目指す地域共生社会の実現に向けた地域づくりを一層進めていく。



「厚生労働省 社会福祉法」



市営住宅などの住居支援について

問 市営住宅の空き家をNPO法人が地域コミュニティスペースや高齢者支援事業などに活用する本市の考え方について伺う。

答 市営住宅は生活困窮者への住居支援を主たる目的としているが、活用している事例もあるため、同様な相談があれば検討していく。



藤新会

植田 裕明 議員



### 市内医療機関の現状と市立総合病院の次年度戦略について

**問** 市内各医療機関の現状は？

答 受診控えによる疾患の重症化を防ぐためにも、安心して適切に受診することを、市民にPRしていきたい。国や県に対して、県市長会などを通じて、再度、診療報酬の改定や補助制度の拡充など、地域医療の崩壊を防ぐため医療機関への財政支援を求めてゆく。

**問** 市立総合病院の次年度予算編成は？

答 本市のみならず志太榛原地域の命の砦として、更に安全・安心な医療を提供していくため、新型コ



手術支援ロボット「ダヴィンチXi」

コロナウイルス感染症に対応した抗原定量検査、及びPCR検査装置の円滑な運用などとともに、手術支援ロボットなどを導入する、低侵襲手術室の来年度からの稼働を見据えた予算を編成し、市民が安心できる受診環境の中で、質の高い医療を提供して、安定した収入の確保に努めてゆく。

### 南海トラフ巨大地震への備えについて

**問** 東日本大震災から10年の節目、改めて危機意識を高めてはどうか

答 震災から10年という時間の経過と共に、過去の悲惨な記憶や危機意識の低下を防ぐために、3月11日を特別な日として、市民をはじめ、自主防災会や市内企業などを対象に、地震発災時の安全確保行動を1分間実施していただく「シェイクアウト訓練」に取り組んでゆく。

さらには、危機管理センター防災展示品のリニューアルをはじめ、公共施設をリレーする防災品展示や、駅南図書館などで防災関連冊子の特設コーナーの設置なども実施してゆく。

**問** 屋内シェルター、防災ベッド、家具転倒防止、感震ブレーカー等は優れた事業と考えているが、件数が減っている。今後どう取り組むか。

答 家庭内の防災対策は、自分と家族、更には地域を守る重要な取組であり、家庭内防災対策を啓発するとともに、利用促進と安全・安心の確保に努める。



日本共産党

石井 通春 議員



### コロナ禍で苦境にある学生への支援を

**問** 世界一高い日本の学費で多くの学生がアルバイトで学費を稼いでいるが、コロナ禍でバイトそのものがなくなり休退学を余儀なくされている。

答 実態の把握に努め公営住宅の提供を含めた支援の充実を検討し、国県に対し支援制度の創設と拡充を働きかける。

**問** 国の支援制度が脆弱であり、行き届いていないという実態の認識はあるか。

答 本当に必要な人に行きわたっているかは、不十分と考える。

**問** 本市出身で首都圏の大学に進学するとそのまま就職し多くが戻ってこない。人口減克服のためにも将来藤枝に永住する条件の学生補助制度が必要。

答 給付奨学金制度の周知徹底を市長会を通じ国に改善を求めていく。



ボランティアによる大学前での食糧支援の様子

### 急拡大しているコロナに対する積極的な取組を～無症状者への検査拡大を～

**問** 今回の感染拡大で、3密の回避や手洗いの励行といった従来の延長線上にとどまらない取組が必要ではないか。

答 41医療機関による発熱外来の整備を進め、入所型の高齢者介護施設などの新規入所者への検査の実施、従業員検査費用の一部助成を1月から行う。

**問** コロナは必ず発症するとは限らず、無症状であっても陽性者は多くいる。新規感染者の4割が無症状者からの感染で、検査の対象を無症状者（コロナで多忙となり、かつ、3密が避けられない保育士や学童指導員など福祉施設従事者）へ広げ安心して仕事ができるようにするべきでは。

答 重症化リスクの高い高齢者などを優先的に行う。現在、検査体制がひっ迫しているので状況を見ながら更なる検査対象の拡大を検討する。

**問** 市は批判の強いGOTO事業の独自上乗せを実施している。中小企業への支援は必要だが、上乗せはコロナ後に行うべきであり、今は業者への直接給付や所得補償を実施すべき時期ではないか。

答 経済的効果の高い消費喚起策に取り組むこととしている。国県の動きを注視しながら給付金など直接支援策を含め幅広い検討を行う。



市民クラブ  
川島美希子 議員

**重症心身障がい児者について**

**問** 日本の障がい福祉の家族依存には限界を感じている。重症心身障がい児者の人数を伺う。

答 志太榛原圏域は211人、市内は81人で、18歳以上が47人、18歳未満が34人である。

**問** 18歳以下の学生は放課後デイサービスがあり夕方18時に帰宅するが、18歳以上の方は、日中活動場所(例:わかふじ・ポップライフ)から16時頃帰宅し、延長は、月に7回まで朝1回夕方1回使うと3日と半しか使えず足りていない。上限を無くすることはできないか伺う。

答 藤枝市の独自支援である。今後全体のニーズを聞き施設に受け入れが可能か検討していく。

**問** 親御さんの入院、急用の場合などの短期宿泊のベッド数は希望数にほど遠い。(誠和藤枝病院に令和2年4月に1床出来たので、自立支援課が立会いの下、親御さんたちと話し合っていくことが決まった。)藤枝市立総合病院も1床あるが、近年利用が少ない。話し合い、親御さんの気持ちに寄り添った体制に整えていくことはできるか伺う。

答 藤枝市立総合病院は前向きに検討する。

**問** 県内に入所施設はいくつあるか伺う。

答 静岡市3、清水町1、伊豆の国市1、浜松市2の計7カ所である。対して知的の施設は50カ所である。7カ所すべて満床の為入所できる施設はない。

**問** 静岡市にある「つばさ静岡」は藤枝市の親御さんが中心となり10年の活動の結果、15年前に開所、今入所は100人待ちである。お母さん方が中心となり、昨年「重症心身障がい児者のグループホームを作る会」を立ち上げた。今まで親御さんは大きく声を上げることを遠慮してきており、それはわが子の介護がどのくらい大変なのかご自身が一番わかっているからである。意思の疎通が難しい上、けいれんやてんかんの発作もあり、どの施設でも対応できる訳ではない。志太榛原圏内、出来れば藤枝市に入所施設、グループホームの必要性があると思うが、伺う。

答 親御さん亡き後の生活の不安は計り知れない。市は、入所施設を運営してくださる団体があれば、国や県にも働きかけ、近隣市と連携して積極的に支援していく。障がい児者の一人一人に寄り添った支援の必要性を強く感じており、ご家族の為に努力して行く事を約束する。



『全介助の重症心身障がい児者のグループホームを作る会』のご家族



市民クラブ  
岡村 好男 議員

**第6次総合計画の土地利用の推進について**

**問** 市街化区域内農地は、緑の空間、また調整池機能や、防災

面の役割は大きい。そうした観点から、「固定資産税の軽減措置」をすべきと思うが伺う。

答 現状、区域内の固定資産税は、評価額の3分の1を上限として軽減をしているが、更なる負担軽減として生産緑地制度の活用が考えられる。地権者の意向を踏まえて、制度導入を検討していきたい。

**問** 放棄地の市民農園活用は、新たなライフスタイルの面からの促進と、農園維持に、補助金の拡大を!

答 コロナ禍にあって市民の皆さんは、遠方との往来を避け、身近なものの価値に目を向ける契機となっており、市民農園を促進していきたい。また農園維持の補助金の拡大は検討していく。

**問** 昨年度都市計画決定された築地地区のような、市街化調整区域内、そして道路沿道への地区計画の適用は、非常に効果が高い。更に促進したいが伺う。

答 築地地区の幹線道路沿道の市街化調整区域の土地利用は、地域の活性化や生活利便性の向上に効果的な施策であり、他の地域の基盤整備の状況などを

調査し、地区計画の適用について検討を進めていく。



幹線道路沿道の調整区域の土地利用(築地地区計画)

**市立総合病院の運営について**

**問** 新型コロナウイルス感染者の、志太榛原圏域4病院の、受け入れ体制能力を伺う。

答 第3波による患者数の急増に対し、受け入れ病床数の要請があるが、志太榛原圏域内では発生患者受け入れには、現状、限界を迎えつつあるといえる。

**問** コロナ専用病棟を設置したが、現状の医療機器類等の医療体制は、整っているのか伺う。

答 人工呼吸器(成人用)16台・人工呼吸器(新生児・小児用)3台・ECMO2台等々で、稼働については、新型コロナ対策においては、十分に余裕がある。

**問** 第2次中期経営計画が、来年の3月に終了するが病院としての内部評価を伺う。

答 第2次中期経営計画では、「がんと救急に強い病院の体制整備」を中心に取り組み、結果として県内有数のがん診療拠点病院の位置づけ・救命救急センターの指定・正規職員の医師数の安定確保(12年前の62人から124人)、経営面でも直近3年間の経常収支は黒字を達成し、一定の内部評価をしている。



藤新会

深津 寧子 議員



## 成年年齢改正にともなう成人式について

**問** コロナ禍の成人式での対策について伺う。

**答** 市の職員で式典時間を短縮し運営する。全ての出席者に接触確認アプリのインストール、14日前からの検温健康チェック。当日は問診票提出、マスク着用、検温と手指消毒、席の間隔確保と換気等対策に万全を期す。※令和3年成人式については新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み新成人代表者の出席とオンライン配信にて開催した。

**問** 成年年齢が改正される令和4年度の対象年齢は決定しているか。

**答** 決まっていないが、アンケートでは20歳を支持する意見が多い。

**問** 若者への消費者被害の相談体制強化と対策について伺う。

**答** 若い世代の消費者教育に力をいれ、身近な相談窓口である消費生活センターの周知を図っていく。



## クリーンセンターの整備に伴う附帯施設とごみの減量化について

**問** 附帯施設はどのような機能を持ったものを予定しているか。

**答** 市民が有意義に利用できる施設となるよう、地元の意向も伺いながら検討していく。

**問** 地元協議をどのように進めるか。

**答** 行政案を提案し、それをもとに検討していく。

**問** 附帯施設の建設時期は。

**答** 可能な限り早い段階で建設できるよう努めていく。



無会派

天野 正孝 議員



## 新型コロナウイルスに揺れる子供たちへの対策

**問** 学校支援員・スクールソーシャルワーカーの充実について伺う。

**答** 4時間従事の「学校生活支援員」を40名配置した。「スクールソーシャルワーカー」は、県任用2名と市任用3名が勤務している。今後、県へ人数増を強く要望していく。

**問** ヤングケアラーへの対応について伺う。

**答** ヤングケアラーに関する支援体制を整え、情報を収集し、本市の福祉部門であればどこでも相談に乗ることを広報し、「SOS」に迅速に答えていく。

**問** 新型コロナウイルス蔓延による休業や外出自粛により深刻化するDV問題について伺う。

**答** いわゆる児童虐待の相談件数と支援対象児数は、本年度10月末で、前年同期比1割程度増加している。総合的な内容の啓発事業を、新たな取り組みとして検討している。

**問** 遅れてしまった学習の取戻しについて、子供たちや教職員の負担を減らす対策伺う。

**答** 現在、再開後に配置した学校生活支援員が効果的に機能しており、併せて年度末までに整備する1

人1台パソコンを有効に活用し、一人ひとりの学びの充実と効率化を図る。消毒や印刷等の業務について活用しているスクールサポートスタッフについては、来年度以降の増員・増時数を県に要望していく。

**問** コロナ禍での小中一貫教育への影響を伺う。

**答** オンラインシステムを活用した小中交流活動を行うなど、「学校の新しい生活様式」に沿いながら、新しい発想で工夫を重ねた小中一貫教育の取組みも数多く生まれた。本年度整備する一人一台パソコンを活用したオンライン交流を充実させるなど、実施可能な方法で小中のつながりが深まるような方法を研究していく。

### 「新しい生活様式」実践例(抜粋)

「感染防止の3つの基本」(身体が距離の確保、3mマスクの着用、3回洗い)			公共交通機関の利用
 ●人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける	 ●外出時、屋内でも会話するとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスク着用	 ●家に帰ったら手や顔を洗う	 ●会話は控えめに ●混んでいる時間帯は避ける
結核、スゴウ病	食事	イベント等への参加	働き方
 ●公園はすいた時間、場所を選ぶ ●ジョギングは少人数で	 ●大皿を避けて、料理は個々に ●持ち帰りや出前、デリバリーを利用	 ●接触確認アプリの活用を ●発熱・風邪症状がある場合には参加しない	 ●テレワークやローテーション勤務・時差出勤 ●会議はオンライン

## 2月定例月議会

2月定例月議会は、2月15日から3月19日までの33日間で開かれる予定です。

- 2月15日 本会議 1日目\*議案上程等
- 25日 本会議 2日目\*代表質問
- 26日 本会議 3日目\*一般質問
- 3月1日 本会議 4日目\*一般質問・議案質疑等
- 2日 現地審査
- 3日 予算特別委員会
- 4日 予算特別委員会
- 5日 予算特別委員会
- 8日 常任委員会
- 10日 予算特別委員会
- 11日 予算特別委員会
- 19日 本会議 5日目\*採決等



\*藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。  
※新型コロナウイルス感染症対策のため本会議場での傍聴の人数制限を行っていますのでご了承願います。

## 議会は藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



お問い合わせ【議会事務局】電話：643-3552

## 議会だより表紙の写真・イラスト等募集！

市議会では、年4回（5月・8月・11月・2月）ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真を募集します。

### ●募集する写真・イラスト等

- 写真の場合…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

### ●応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

### ●応募上の条件

- 写真の場合…市内で撮影されたもの。
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。

- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

### ●選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

### ●応募の締め切り

5月20日号の締切⇒令和3年2月25日(木)

※詳細について、藤枝市議会ホームページをご覧ください。  
また、議会事務局へお問い合わせください。

### お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）  
住 所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1  
電 話：054-643-3552  
メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



### 応募写真コーナー



守られて  
(白藤の里)  
撮影：山本光幸さん



三ツ鳥居・神社  
(岡部町三輪)  
撮影：小長谷充朗さん



蓮華寺池の宝石  
(蓮華寺池公園)  
撮影：中本恵寛さん



桜と青木川を眺める  
(東町遊歩道)  
撮影：山本俊子さん



### 編集後記

昔から艶やかなきめ細かな生地で包まれた大福が好きです。粒餡・こし餡・生クリーム餡、近頃は苺・みかん・白桃・ぶどう・抹茶など丸ごと包み、甘党の私の楽しみひとつとなっています。議会たよりも色々な市政の情報を丸ごと包んで皆様にお届けしようと考えており、何が入っているか今回もじっくりご賞味いただければ幸いです。

編集委員 神戸好伸

